

2014年11月10日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2014年35号)

邦人被害の発生

リオ州文民警察から、邦人観光客の犯罪被害について以下の通り報告されています。

- ① 10月11日午後2時30分頃、コパカバーナ海岸の2554番付近において、邦人が海水浴中、一泳ぎして戻ってみると、砂浜に置いていた所持品（眼鏡、衣服、タオル及び現金（約350R\$））がなくなっていることに気がついた。付近で犯行を目撃した者は居なかった。
- ② 10月24日午後2時30分頃、イパネマ海岸のポスト8付近において、邦人が海水浴中、少し目を離した隙に、財布（現金約850R\$入り）、スマートフォン、デジタルカメラがなくなっていた。付近で犯行を目撃した者は居なかった。
- ③ 11月2日午後1時頃、サンタテレサ地区のマヌエル・カルネイロ通りにある「セラロンの階段」の頂上付近において、邦人女性及び友人（外国人）が観光中、一人の男性が近寄ってくると、同邦人に刃物を突き出して、金品を要求した。その後、男は邦人女性からカバンを無理矢理奪って逃走した。

コパカバーナ、イパネマ海岸、また、最近観光地として有名になっている「セラロン階段」等、観光地における邦人被害が目立ちます。

ブランド物のバッグやスマートフォン、高級カメラ等、人目を惹く物の使用することを避けるとともに、所持品から決して目を離さないよう注意してください。